凡例　対対象　日日時　場会場　内内容　講講師　定定員　費費用　申申し込み　問問い合わせ

ご案内

健康講座

【認知症の高齢者に対する接し方】

対市内在住の60歳以上の方
日11月26日（水）午後1時30分～3時
場鶴川市民センター
講YMCA福祉専門学校講師・利根川都子氏
定30人（申し込み順）
申往復ハガキに講座名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・年齢を明記し、11月19日まで（必着）に、町田市老人クラブ連合会（〒194－0022、森野1－1－15、わくわくプラザ町田3階、☎725・4613）へ。
問高齢者福祉課☎724・2141FAX050・3101・6180

講演会

男女平等推進センター

【考えよう！そして無くそう！～夫婦間暴力（DV）・恋人間暴力（デートDV）&ストーカー】

日12月14日（日）午後2時～5時
場町田市民フォーラム
内「配偶者や恋人からの暴力の実態と支援について」「ストーカー防止法」「町田市におけるDV・ストーカーの現状と対策」
講（公財）横浜市男女共同参画推進協会理事・事業本部長納米恵美子氏、町田警察生活安全課防犯係警部補・河口久氏
定188人（申し込み順）
申11月11日正午～12月7日に電話でイベントダイヤル（☎724・5656）へ。保育希望者（1歳6か月以上の未就学児）は併せて申し込みを。
問男女平等推進センター☎723・2908FAX723・2946

11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です

配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などの女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されません。

男女平等推進センターでは、女性に対する暴力等の問題について、電話相談を受け付けています。
電話相談☎721・4842（月・火・木・金・土曜日＝午前9時30分～午後4時、水曜日（第3水曜日を除く）＝午後1時～8時）
問男女平等推進センター☎723・2908FAX723・2946

社会保障・税番号（マイナンバー）制度 ～通知カード・個人番号カードとは？

社会保障・税番号制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現するための社会基盤となるものです。

2016年1月からの導入にあたり、皆さんに発送する「通知カード」と、申請者に発行する「個人番号カード」について説明します。

【通知カード】

2015年10月から、「通知カード」で個人番号（マイナンバー）を通知します。
①住民票を有するすべての方に、一人一つの12桁の番号（マイナンバー）が通知されます。
②マイナンバーは、その番号情報が漏洩し、不正に使われるおそれがある場合を除き、生涯変更されません。
③通知カードには、氏名・住所・生年月日・性別が記載されていますが、顔写真は入っていないため、身分証明書としては利用できません。

【個人番号カード】

2016年1月からは、本人の申請に基づき「個人番号カード」が交付されます。
①氏名・住所・生年月日・性別・個人番号（マイナンバー）・本人の顔写真が掲載されますので、身分証明書としても利用できます。
②カードのICチップに搭載された電子証明書によって、e－TAXをはじめ、各種の電子申請が行えます。
③コンビニエンスストアでの証明書類の自動交付など、各自治体が条例で定めるサービスにも利用できます。

【住民基本台帳カードは、どうなるの？】

①個人番号カードの交付が始まる2016年1月から、住民基本台帳カードは交付されません（1人で個人番号カードと住民基本台帳カードの両方を持つことはできません）。
②2015年12月までに交付された住民基本台帳カードは、これまでどおり10年間有効です。

【コールセンターのご案内】

内閣府では、社会保障・税番号制度に関するコールセンターを開設しています。
○**日本語対応**　☎0570・20・0178
○**英語対応**　☎0570・20・0291
○**受付時間**　月～金曜日の午前9時30分～午後5時30分（祝日・年末年始を除く）
問市民課☎724・4225FAX050・3085・6262

新規就農者・町田のNEWファーマーズの

農産物の直売

2011年度から始まった町田市農地利用集積円滑化事業により、新たに農業経営を始めた「新規就農者」の農産物の直売を行います。
※直接会場へおいで下さい。
日11月21日（金）午前10時～午後1時（売り切れ次第終了）
場市庁舎前
問農業振興課☎724・2166FAX050・3101・9913

認可保育園を運営する費用の状況と制度変更のお知らせ

問子育て支援課☎724・2137FAX050・3101・9459

認可保育園は、保護者の就労や病気などの理由により、家庭で保育できない児童を保護者に代わって保育する児童福祉施設です。

市内には市立・私立合わせて69園の認可保育園があります（幼保連携型認定こども園を含む）。

認可保育園の運営は、児童福祉施設最低基準の8時間保育にかかる国基準保育所運営費が基本となっています。このほか、保育所機能を拡充するために、11時間保育や延長保育の実施、0歳児・障がい児保育の充実等、さらに子育て支援にかかわる各種事業を実施するための費用もかかっています（図1参照）。

保護者の皆さんに負担していただく保育料は、現在、運営の基本となる国基準保育所運営費の保護者負担（率）が25％以下になるよう設定しています。なお、2013年度は21・1％でした（図2参照）。

【子育て支援新制度に伴う変更について】

現在の保育料は原則として前年の所得税額で決定しています。しかし子育て支援新制度実施に伴い、2015年度からは市民税の所得割額に応じて保育料を決定します。

また、その対象となる年度の切り替え時期も、4月から9月に変更するため、保育料が年度の途中で変わることもあります。

新制度については、町田市ホームページ等でお知らせしていますので、ご覧下さい。

保育料や特別保育料は、保育園運営の大切な費用の一部となっています。納期限を守って納付して下さい。

認可保育園の運営には下図のような費用があり、保護者の皆さん・国・都・市で負担しています

〔2013年度の入所児童の状況〕
延べ入所児童数　7万1560人
月平均入所児童数　5963人
1人当たりの平均保育料　1万6851円／月

図1

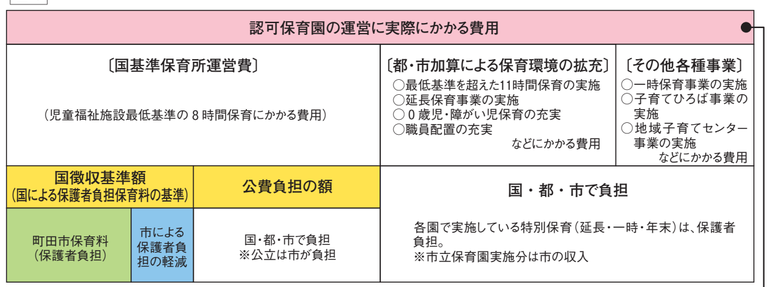


図2

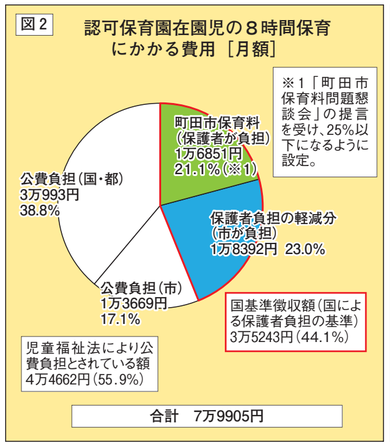
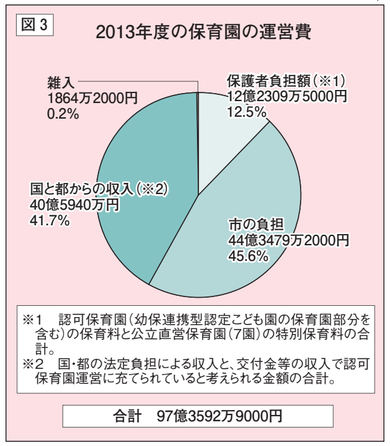


図3



対象者は、お早めに申請を！

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

問 町田市役所臨時給付金専用コールセンター ☎0570・666・849
福祉総務課臨時給付金係 ☎724・4431

ご案内

町田新産業創造センター

創業者を支援します！

【地域創業促進支援事業～まちだ女性創業スクール】

創業の基礎知識、マーケティング・商品開発、ライフスタイルとの両立、女性起業家の体験談等、女性特有の学習ポイントをカリキュラムに盛り込み、より実践的なビジネスプランを作成していきます。
対創業予定の女性
日11月12日（水）、13日（木）、19日（水）、20日（木）、26日（水）、27日（木）、12月4日（木）、いずれも午前10時～午後3時、全7回
講（株）ウィルパートナーズ代表取締役・辺見香織氏、税理士、司法書士、特定社会保険労務士等
定30人（申し込み順）
費1万800円

【マメ知識講座】

創業・起業に関する予備知識習得を目的としたセミナーを毎月開催しています。
日①12月3日（水）②12月11日（木）、いずれも午後6時30分～8時
内①販路拡大＝販売促進の基本を学ぶ②経営＝人材採用！元人事マンが教える、採用のコツ
講①ジャイロ総合コンサルティング（株）中小企業診断士・西村伸郎氏②Office CPSR代表・植田健太氏
定各30人（申し込み順）

【創業・起業に関するなんでもビジネス相談会】

経験豊富な専門家があなたの起業をサポートします。
日12月3日（水）、13日（土）、18日（木）、22日（月）、いずれも午後1時～5時
※相談時間は1人1時間です（要予約）。
場町田市新産業創造センター
申電話で同センター（☎850・8525）へ（同センターホームページで申し込みも可）。
問産業観光課☎724・2129FAX050・3101・9615

◇

訓練生募集～再就職をめざす女性のための職業訓練

【トラベルビジネス科（3か月コース・1月入校生）】

東京都との共催事業です。結婚、出産、育児等で退職して、再就職を目指す女性
日2015年1月5日（月）～3月31日（火）、午前10時～午後2時50分（原則、土・日曜日、祝日を除く）
場町田市文化交流センター
内国家試験「旅行業務取扱管理者」の資格取得に必要な知識・技能・技術の習得、就職支援も実施
講トラベル・アンド・コンダクター・カレッジ講師
定20人（書類選考有り）
費1万5000円程度（テキスト代）
申11月18日までに、直接各ハローワーク、または東京しごとセンターへ。
※詳細はTOKYOはたらくネットホームページをご覧下さい。
問東京都立中央・城北職業能力開発センター再就職促進訓練室☎03・5211・3240、東京都産業労働局能力開発課公共訓練係☎03・5320・4807、町田市産業観光課☎724・2129FAX050・3101・9615

救援金にご協力下さい

日本赤十字社は、「シリア・イラク人道危機救援金」を2015年3月31日まで受け付けています。

【ゆうちょ銀行・郵便局を利用する場合】

窓口での取り扱いの場合は、送金手数料は無料です。
口座番号00110－2－15606
加入者名日本赤十字社
※振替用紙の通信欄に「シリア・イラク人道危機救援金」と明記して下さい。また、受領証の発行を希望する方は、振替用紙の通信欄に「受領証希望」と明記して下さい。

【銀行を利用する場合】

振込手数料が別途かかる可能性があります。
①三井住友銀行すずらん支店（普）2780730
②三菱東京UFJ銀行やまびこ支店（普）2105735
③みずほ銀行クヌギ支店（普）0625307
口座名義日本赤十字社
※受領証の発行を希望する方は、住所・氏名（受領証の宛名）・電話番号・寄付日・寄付額・振込金融機関名・支店名を日本赤十字社組織推進部海外救援金担当（☎03・3437・7081）へご連絡下さい。
問福祉総務課☎724・2537FAX050・3101・0928

町田市立博物館所蔵作品展

「ビエンコ」ってナンダ!? ガラスの鼻煙壺 ―清朝の嗅ぎたばこ入れ

問博物館☎726・1531FAX723・3406

中国・清朝の時代に、さまざまな技法を駆使して作られた嗅ぎたばこ入れ約220点を展示します。手のひらに収まる小さな工芸品に施された、高度なガラスの技法をお楽しみ下さい。
※本展覧会は写真撮影可能です（三脚・フラッシュの使用は不可）。

雪片地赤被梅鵲文鼻煙壺　町田市立博物館蔵

会期11月15日（土）～12月23日（祝）
休館日月曜日（ただし11月24日は開館し、25日休館）
観覧時間午前9時～午後4時30分
場市立博物館
入館料300円（障がい者150円、中学生以下無料）

関連催事

催事への参加には、入館料が必要です。

【講演会～嗅ぎたばこ入れ・知られざる美術工芸の世界】

直接会場へおいで下さい。
日11月30日（日）午後2時～3時30分
場同館2階講堂
講たばこと塩の博物館主任学芸員・谷田有史氏
定60人（先着順）

【体験講座～焼絵付けガラスに挑戦】

ガラスの器に特殊な絵の具で絵を描き、電気炉で焼き付けます。作品は、当日持ち帰りできます。エプロンをお持ちください。

透地エナメル彩蓮池文鼻煙壺　町田市立博物館蔵

対中学生以上の方
日12月7日（日）午後1時～3時30分
場同館2階講堂
講焼絵付けガラス美術研究所主宰・鶴身美友氏
定20人（申し込み順）
費500円（材料費）
申氏名・電話番号を明示し、11月11日正午から電話でイベントダイヤル（☎724・5656）へ。

【担当学芸員によるギャラリートーク】

直接会場へおいで下さい。
日12月14日、21日、いずれも日曜日午後2時～2時30分
場同館1階展示室
定20人（先着順）
※来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。
※エレベーターはありません。

車ごと出店できる！

まちエコ・フリーマーケット

ご家庭で不要になったものをリユース（繰り返し使う）するフリーマーケットの出店者を募集します。
日12月7日（日）午前10時～午後2時30分
場町田リサイクル文化センター隣接地
費1000円
申電話でまちエコフリマ事務局（☎050・3450・5555）へ（まちだエコライフ推進公社ホームページで申し込みも可）。
※出店するほど品物数がない方を対象に、無料の「共同出品コーナー」を設けます。出品受付は当日会場で行います。詳細はまちだエコライフ推進公社（☎797・9617）へお問い合わせいただくか、同公社ホームページをご覧下さい。
問3R推進課☎797・0530FAX797・5374

第6期町田市介護保険事業計画（案）

市民説明会

日11月23日（祝）午前10時～11時30分
場市民協働おうえんルーム（市庁舎2階）
定50人（申し込み順）
申11月20日午後5時までに電話でイベントダイヤル（☎724・4555）へ。
問高齢者福祉課☎724・4048FAX050・3101・6180、介護保険課☎724・4366FAX050・3101・0928

催しのご案内

町田市民ホール 和光大学ポプリホール鶴川

休館は第1・3月曜日（祝日の時は開館、町田市民ホールのみその翌日休館）
問町田市民ホール☎728・4300
受付時間　午前8時30分～午後5時
※町田市民ホールは2015年3月31日まで改修工事のため事務所以外は休館します

第22回 若き演奏家による 水曜午後の音楽会

2015年1月21日（水）午後2時開演
1000円（全席自由）
場和光大学ポプリホール鶴川
出演岡本誠司（バイオリン）、山中惇史（ピアノ）
曲目バッハ／無伴奏パルティータ第2番作品1004　他（予定）
※6歳以上の方から入場可。
申11月20日正午から電話でイベントダイヤル（☎724・5656）へ。

講座受講生募集

【ひきこもる心を理解する～地域で支えていくために】

日①12月8日（月）②12月16日（火）③2015年1月13日（火）④1月20日（火）⑤1月27日（火）、いずれも午前10時～正午、全5回
場生涯学習センター
内①公開講座＝ひきこもる社会を理解する②支援の現場から③「サポステ」の可能性④当事者の活動を創り出す⑤家族の役割・親の会について
講①医師・斎藤環氏②認定（特）文化学習協同ネットワーク代表理事・佐藤洋作氏③さがみはら若者サポートステーション・藤井智氏④ジャーナリスト・池上正樹氏⑤親の会（さんまの会）・佐伯千里氏
定①のみの参加＝124人、全回参加＝30人（いずれも申し込み順）
申11月11日午前9時から電話で同センター（☎728・0071）へ。FAXでのお問い合わせはFAX728・0073へ。

催し ご参加を

図書館入門講座

対市内在住、在勤、在学の高校生以上の方
日12月1日（月）午後2時～4時
場中央図書館
内資料の分類や検索パソコンの使い方、館内（いつもは入れない書庫等も）見学
定10人（申し込み順）
申11月14日午前10時から直接または電話で同館4階メインカウンター（☎728・8220）へ（2人まで申し込み可）。FAXでのお問い合わせはFAX729・6160へ。